

新しく歩きはじめる

君に **エール**、送りたい

新生活をスタートする人が多い4月。期待と不安で心がざわざわする時期に、新たな一歩を踏み出したあなたへメッセージを贈ります。太宰府市にある筑陽学園高校出身で、現在、芸能やスポーツなどの多方面で活躍する3人にインタビューしました。それぞれのステージで努力する姿からは、励ましとパワーをもらえます。この特集を読んでいる人の心に、3人からのエールが届きますように。

楠田大蔵市長が
3人に
聴きました



俳優・令和の都だざいふ応援大使
ふくだ
福田
あめい
愛依
さん

自分の心のあり方で
人生が変わります

置かれた場所で咲く

しなやかさ

プロフィール

太宰府市出身の俳優。愛称はめいめい。所属事務所はエイバックス・マネジメント・エージェンシー株式会社。
[女子高生ミスコン 2017-2018]でグランプリを獲得し、芸能界デビュー。NHK「大河ドラマ鎌倉殿の13人」出演や、日本テレビ「ZIP!」キテルネ!でリポーターを務めるほか、映画、ドラマ、舞台、ミュージックビデオ、バラエティ、広告など全国区で幅広く活動中。令和5年6月からは、令和の都だざいふ応援大使に就任。同年の太宰府市民政庁まつりに特別ゲストとして出演しました。



グランプリに輝いた瞬間の福田さん



日本テレビ「ZIP!」のキテルネ!でリポーターを務める福田さん

福田さんが過ごした太宰府での思い出は

高校卒業までの17年間、太宰府の大自然の中のびのびと育ちました。筑陽学園高校に入学したところ、ちょうど太宰府天満宮の参道のお店が入替わっている時期でした。新しくできたインスタ映えるスイーツのお店に、友だちと休みの日に出かけていました。

今の世界に一歩を踏み出すことになったきっかけは

芸能界を目指したのは小学生のころ。卒業アルバムに将来はレッドカーペットを歩きたいと書いていました。大学進学が芸能の道に進むか悩む中で、高校2年生の時にオーディションに挑戦しました。そこではじめて応募した「女子高生ミスコン」で約30万人のエントリーの中からグランプリをいただき、3年生の春には芸能生活がスタートしました。今もオーディションはたくさん受けますが落ちる日々です。その場で反省しながら、次のオーディションに向けて気持ちを切り替えるようにしています。

ドライブが好きなので、落ち込んだときは自然の中へ出かけます。切り替えを大切に、前向きに生きています。

俳優として活躍されていますが、今後の目標は

まだまだ知名度がないと感じているので、少しずつみなさんの力を借りて、映画やドラマ、バラエティーにも出演したいです。東京で経験を増やして結果を出しつつ、福岡が大好きなので、福岡で番組がもらえるようになりたいです。ライバルは、東京と福岡の両方で活躍する元HKT48の村重杏奈さん。どんなかたちであれ福岡に携わって、故郷に恩返しをしたいです。

新生活をスタートする人へエールを

好きな言葉に「置かれた場所で花を咲かせなさい」があります。実は高校受験で第一志望校に合格できず、泣く泣く学校生活がスタートしました。その時、クラスの担任の先生からこの言葉を掛けていただき、言葉一つで学校生活が変わりました。この言葉がなかったら、ずっともやもやしていたかもしれません。置かれた場所で自分がどう生活するかで、その後が変わります。新生活もそれに近いと思っています。望む就職先に入れなくても、自分がどう意識するかで生活が変わり、人生が変わると思っています。置かれたのがどんな環境であっても頑張ってください。わたしも頑張ります。

東京ヤクルトスワローズ1位指名 にしだて こうた 西舘 昂汰 さん

自ら可能性を
なくすのはもったいない



運と巡り合わせに 感謝できる力

プロフィール
筑紫野市出身のプロ野球選手(投手)。東京ヤクルトスワローズ所属。
筑陽学園高等学校で同学年の進藤勇也とバッテリーを組み、3年春の第91回選抜高等学校野球大会、夏の第101回全国高等学校野球選手権大会に出場。大学進学後は、3年秋のリーグ戦で最優秀投手に選出。令和5年にドラフト会議で、東京ヤクルトスワローズから1位指名。最速152km/hの直球を投げる。変化球はキレのあるフォークが武器。

地元が太宰府のすぐ近くで、小学校の遠足は大宰府政庁跡と四王寺山に行きました。小学生にとっては長い距離でしたが、気合で歩きました。当時、九州国立博物館も開館して、ゆかりのある場所に足を運んでいました。太宰府にはイベントなどの節目にお世話になっていました。

今の世界に一步を踏み出すことになったきっかけは

野球を始めたきっかけは、家族でプロ野球を見ていたこと。当時、ホークスで活躍する川崎宗則選手や本多雄一選手、斉藤和巳選手に憧れて、ずっとプロ野球選手になりたかったです。その口では言っていませんでしたが、本当になれるとは思っていませんでした。筑紫野中学校で二日市ボーイズに所属し、ピッチャーと内野を経験しましたが、中学、高校時代は伸び悩んでいました。日本代表の合宿に大学4年生の夏に参加できて、プロ野球選手への道のりがあるかもしれないと思いました。プロに進めたら良いなと思っていたら、結果はドラフト1位指名。ずっと憧れていた場所だったので、今も実感はありません。



写真協力：写真のトクダ
筑陽学園高校時代、甲子園に出場した西舘さん

プロ野球選手として、今後の目標は

まずはプロの環境に慣れることです。試合では開幕1軍で帯同して、2年目はたくさん経験をして経験値を上げたいです。身長が高くボールの強さに自信があるので、大谷翔平選手や同い年の佐々木朗希選手が出す球速160kmに負けないように、ピッチャーのロマンであるスピードを意識してプレーしていきたいです。直球で勝負できる選手をめざします。

新生活をスタートする人へエールを

プロ野球の世界に進みますが、これまで自分が本当にプロ野球選手になれるとは思っていませんでした。いざやってみると、いろんな巡り合わせでプロの世界に入ることができました。自分が望む何かなれないと思って、自分で行動するのをやめるのはもったいないです。やらずに後悔するよりもやって後悔したほうが、良いと考えています。自分で可能性をなくさないでほしいと思います。僕は運が良く、いろんな人との縁があって、監督にも指導してもらいました。ピッチングが成長したタイミングも良くて、運に感謝しています。



東京ヤクルトスワローズにドラフト1位で指名されたことを母校で報告しました

北海道日本ハムファイターズ2位指名 しんとう ゆうや 進藤 勇也 さん

まずはやってみる
新しい発見に繋がることも



プロフィール
福岡市西区出身のプロ野球選手(捕手)。北海道日本ハムファイターズ所属。
筑陽学園高等学校で同学年の西舘昂汰とバッテリーを組み、3年春の第91回選抜高等学校野球大会、夏の第101回全国高等学校野球選手権大会に出場。大学進学後は、3年生からキャプテンを務め、大学選手権では敢闘賞を獲得。各大会で日本代表にも選出。令和5年にドラフト会議で、北海道日本ハムファイターズから2位指名。安定したディフェンスと共に、攻撃でも力を発揮。

福岡市内の自宅から、筑陽学園高校のある太宰府には毎日通っていました。地下鉄姪浜駅から天神駅、西鉄二日市駅へと電車を乗り継ぐ日々でした。高校時代は、所属していた野球部で、毎年、年明けに太宰府天満宮に必勝祈願のお参りをしていました。これが習慣になって、関東の大学に進学してからも、毎年太宰府天満宮には行くようになりました。お世話になった場所です。

今の世界に一步を踏み出すことになったきっかけは

小学生のころからプロ野球選手になりたいと思っていました。心のどこかで、なれるわけがないと思っていました。中学時代は、初戦で出場できる人材ではなく、周囲の人からも無理だろうと言われていました。筑陽学園高校野球部で甲子園に出場したときも、自信がありませんでした。ただ、高校時代から、プレイヤーとして少しずつ注目され始めました。大学3年生になって、日本代表に選抜されたから状況は変わりました。試合や戦いは好きです。勝ちたいです。



写真協力：写真のトクダ
筑陽学園高校時代、甲子園に出場した進藤さん

プロ野球選手として、今後の目標は

まずはプロ1軍に定着することです。1年目に、どれだけ自分の強みをアピールできるのかが大事だと考えています。わくわくした気持ちです。将来は、日本を代表するようなキャッチャーになりたいと思います。今はメジャーリーグの世界は想像できません。日本で活躍できるように、精一杯頑張ります。

新生活をスタートする人へエールを

いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。やり始めてみて、「これいいな」「何か違うな」と思うこともあります。やり始めてみたら継続できるなど、自分自身の発見に繋がることもあります。僕自身、トレーニングは始めてみて、「あ、好きだな」と思って今でも続けています。人は継続することが一番難しいですが、好きなことなら続けられます。いろんなことを発見できたら良いですね。やっていくにつれて好きになることも、達成したときに好きになることもあります。自分自身の経験からも、まずは、何事もやってみることをお勧めします。



北海道日本ハムファイターズにドラフト2位で指名されたことを母校で報告しました